

「錦絵に見る明治のイベント風景」展

会期:2016年 1月 9日(土) ~ 3月 27日(日)

会場:< GAS MUSEUM がす資料館>ガス灯館2階「ギャラリー」

ごあいさつ

GAS MUSEUM がす資料館では、ギャラリー第77回企画展として、2016年 1月 9日(土)から 3月 27日(日)までの期間、「錦絵に見る明治のイベント風景」展を開催します。

時代が江戸から明治へと変わり、社会の制度や暮らしが大きく変わる中、新しい社会システムや設備が誕生するのにあわせ、さまざまな式典や催し物が行われました。

鉄道が開業するのに合わせて催された新橋駅での開業式典、築地の海軍の敷地で試験された気球の公開実演、明治10年(1877)から3回、上野で開催された内国勸業博覧会の風景の他、新しく時代が変わっても引き続き催された花火大会や祭の様子など、数多くのイベントは人々を集めました。

今回の展示では、明治時代に催されたさまざまな式典や催し物の様子を描いた錦絵から、イベントに集う人々と賑わう様を描いた24点の作品より紹介致します。

GAS MUSEUM がす資料館

■展示作品一覧

【展示解説】

学芸員 高橋 豊

鉄道開業式

作品は明治5年(1872)10月14日(旧暦9月12日)に開催された新橋駅での鉄道開業式の様子を描いています。

予定では9日に開催される所を、悪天候のため延期して開催されました。

1) 汐留より蒸気車御開業祭礼之図

昇斎一景 明治5年(1872)

横浜郵便局開業式

明治8年(1875)1月5日に開催された、外国との郵便を取り扱う郵便局開業式を描いています。

二階のテラス欄干には、菊章の花瓦斯が灯されています。

2) 横浜郵便局開業之図

歌川広重(三代) 明治8年(1875)

新富座開業式

作品は明治11年(1887)6月に新築落成した新富座の様子を描いています。

建物内の照明としてガス燈が備えられており、これはガス会社と交渉してガス燈の宣伝という名目で配管してもらいました。

3) 東京名所図絵 新富座開業式花瓦斯燈

歌川広重(三代) 明治11年(1878)

4) 新富座本普請落成夜劇場看客群集図

歌川国政(四代) 明治11年(1878)

気球実演試験

作品は築地海軍省前で行われた気球の試験風景が描かれています。

気球に詰めるガスは、芝金杉橋のガス工場からパイプで送られた石炭ガスが使われ、日本人だけで製造実験が行われました。

5) 築地海軍省於 繰練場風船御試之図

歌川広重(三代) 明治10年(1877)

市川右団次上京

大阪で活躍していた市川右団次が、明治15年(1882)に東京の新富座へ乗り込む風景が描かれています。夜間にもかかわらず大変な賑わいであったことが、作品から分かります。

6) 市川右団次東京新富座江乗込之図

歌川芳宗(二代) 明治15年(1882)

両国川開き

明治時代の両国の川開きの風景で、作品では水上は船同士で押し合いへし合いとなり、橋上の人々で埋め尽くされている様子が描かれています。

7) 東京両国橋川開大花火之図

永島春暁 明治23年(1890)

祭礼

豪華な山車や練り物が人々の目を引く、神田祭を描いています。

やがて街中に電線が敷設されると、明治22年(1889)を最後に、山車は曳かれなくなりました。

一方、鎧稲荷神社は明治4年(1871)に兜岩とともに移転し、このとき兜岩を祭神とする兜神社が誕生しました。現在も兜町関係者の信仰を集めています。

8) 神田祭礼だし一覽

歌川国利 年代不明

9) 東京名所 兜町米商会所 鎧稲荷祭礼之真図

歌川広重(三代) 明治11年(1878)

大久保利通帰朝

作品には、大久保利通が明治7年(1874)11月に清国と台湾出兵問題を交渉し、帰国した時の様子が描かれています。

10) 大久保公帰朝図

歌川広重(三代) 明治7年(1874)

憲法発布式

明治22年(1889)2月11日に発布された大日本帝国憲法は、東アジア初の近代的な憲法でした。

人々は、憲法発布の前からその内容も知らずに御祝いなどを準備しましたが、当日は前日からの雪が降り積もるなかで式典は行われました。

11) 憲法発布式大祭之図 大日本東京 吾妻橋真画
井上安治 明治22年(1889)

12) 憲法発布式祝祭図
小林幾英 明治22年(1889)

魯国皇太子来日

明治24年(1891)に日本を訪れたニコライ皇太子(のちのニコライ二世)は、長崎、鹿児島、神戸から京都と訪問し、国内では国を挙げて歓迎しました。

作品は、東京を訪問するロシア皇太子の姿を想像して制作されましたが、大津で日本人に切りつけられ離日してしまったため、幻の風景となっています。

13) 魯国皇太子御着之図
歌川国政(五代) 明治24年(1891)

巡幸御出発風景

明治5年(1872)を最初に明治18年(1885)まで行われた巡幸は、北は札幌から南は鹿児島までめぐり、各地の官庁、社寺の他、産業や物産なども見て回りました。作品は明治11年(1878)に行われた三回目の巡幸の出発風景を描いています。

14) 北陸東海御巡幸御発輦之図 東京萬世橋之真景
楊洲周延 明治11年(1878)

大喪の礼

明治45年(1912)7月30日に明治天皇が崩御され、同年9月13日から15日にかけて行われた大喪儀の様子が描かれています。ガスの篝火(かがりび)が、二重橋から馬場先門まで掲げられました。

15) 二重橋外御大葬之図
半嘯 大正元年(1912)

内国勸業博覧会

明治6年(1873)のウィーン万国博覧会への参加から、明治政府は博覧会を開催し、さまざまな物産を集めて人々に見せ、知的刺激を与えて殖産興業を促そうとしました。

明治10年(1877)に開かれた第一回から、明治14年(1881)の第二回、明治23年(1890)の第三回までの内国勸業博覧会は上野で開催され、明治28年(18

95)の第四回は京都で、明治36年(1903)の第五回は大阪で内国勸業博覧会は催されました。

第一回内国博覧会

明治10年(1877)に上野公園で開催された第一回内国勸業博覧会は、8月21日から102日間の開催で、観覧者数は45万人あまりを数えました。

16) 大日本内国勸業博覧会 製糸器械之図
歌川国明(二代) 明治10年(1877)

17) 上野公園地 博覧会御開業図
古林年光 明治10年(1877)

18) 上野公園地 内国勸業博覧会開業図
古林年光 明治10年(1877)

第二回内国博覧会

第一回内国勸業博覧会から4年後の明治14年(1881)3月に、同じ上野公園で第二回内国勸業博覧会が開催されました。

3月1日からの122日間で82万人あまりの来場者がありました。

19) 第二回内国勸業博覧会場中道案内
歌川国政(四代) 明治14年(1881)

20) 東京上野公園地第二回内国勸業博覧会開場之図
歌川広重(三代) 明治14年(1881)

21) 内国勸業博覧会館内列品ノ図
歌川芳虎 明治14年(1881)

第三回内国博覧会

明治23年(1890)に開催された第三回内国勸業博覧会は、徐々に当初の趣旨であった殖産興業から、娯楽性の強い展示もされるようになりました。

4月1日からの122日間で100万人を超える来場者がありました。

22) 東京名所之内 上野公園地第三回内国勸業博覧会
歌川国利 明治23年(1890)

23) 上野公園於開説第三回内国勸業博覧会之略図
歌川広重(三代) 明治23年(1890)

24) 第三回博覧会図
楊齋延一 明治23年(1890)

おもな参考文献

外国郵便事始め 篠原宏 (株)日本郵趣出版 1982年
「明治ニュース新聞」各巻
(株)毎日コミュニケーションズ 1984年
図録 博覧都市 江戸東京 江戸東京博物館 1993年

GAS MUSEUM がす資料館 企画展ご案内郵送申込について

ご来館ありがとうございます。これから3ヶ月ごとに開催されます、「GAS MUSEUMがす資料館 企画展」のご案内はがきの郵送をご希望の方は、官製ハガキに ①氏名 ②連絡先住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤感想・意見 ⑥今後希望する企画展、をご記入の上、下記の住所までお申し込みください。
次回より約1年間、毎企画展ごとにご案内ハガキを無料で郵送します。

(ハガキ持参で来館された方は、そのまま継続して登録されます)

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25 GAS MUSEUMがす資料館「ご案内ハガキ」係

TEL(042)342-1715 FAX(042)342-8057

《当館のお客様情報(個人情報)は、当館イベント運営に必要な業務を含め、当館に関連する企画、及びサービスのご案内のために使用いたします。》